

横手市指定文化財

<p>指定名称</p> <p>カトリック横手教会聖堂</p> <p>かとりっくよこてきょうかいせいどう</p> <p>時代</p> <p>昭和 員数 1棟</p> <p>大きさ</p> <p>建築面積 92.4㎡</p> <p>指定年月</p> <p>平成29年4月24日</p> <p>管理者</p> <p>カトリック新潟教区</p> <p>所在地</p> <p>寿町</p>		<p>しょうわ ねん がつ かいしゅうどうし 昭和13年(1938)6月にイエズス会修道士クロッパ せつけい ちやっこう どうねん がつ しゅんこう の設計により着工され、同年11月に竣工してい る。もくぞうひらやだ いちぶしょうろう きりづまづく 木造平屋建て(一部鐘楼)、切妻造りでアー まど きそくただ はい へいめんはいち なんぼく チ窓を規則正しく配している。平面配置は南北を まど きそくただ はい へいめんはいち なんぼく じく きたがわ げんかん はい げんかんひだり こっかいしつ みぎ 軸とし、北側に玄関を配し、玄関左に告解室、右 ものおき しょうろう いりぐち れいはいどうしょうめん さいだん に物置(鐘楼への入口)、礼拝堂正面には祭壇を、 さいだん しょうしつ しんぶひかえしつ はい いちぶ 祭壇右手に香室(神父控室)を配している。一部 かいしゅう けんちくとうしよ ようす よこのこ 改修されているが、建築当初の様子を良く残す。</p>
<p>指定名称</p> <p>山中家住宅 主屋及び座敷蔵</p> <p>やまなかけじゅうたく おもやおよびざし きぐら</p> <p>時代</p> <p>明治-昭和 員数 2棟</p> <p>大きさ</p> <p>主屋 梁間5間半、桁行23間</p> <p>指定年月</p> <p>平成29年4月24日</p> <p>管理者</p> <p>個人</p> <p>所在地</p> <p>増田町増田字中町</p>		<p>おもや みなみがわ もう とお どま そ きたがわ 主屋は、南側に設けられた通り土間に沿って北側 まじしつ とうらめん しょうぶ うらとびら かいこうぶ いちぶ に居室が設けられ、明治後期から大正期の建築と かんが ざしきぐら はりま けん けんちく けん しょうめん 考えられる。座敷蔵は、梁間4間、桁行7間で正面 およ そくめん うちめん しょうぶ うらとびら かいこうぶ いちぶ 及び側面と裏面の腰部、裏扉 や開口部の一部が くろしつくい ほか かべ しろしつくいし あ むなふだ 黒漆喰、その他の壁は白漆喰仕上げ。棟札により しょうわ ねん けんちく せんちく きや 昭和10年(1935)の建築とわかる。軸は、トラス こうぞう もち くら どうじき けんちく かんが 構造が用いられ、蔵と同時期の建築と考えられ ますだ ちく てんけいてき まちやけいしき ている。増田地区の典型的な町屋形式であり、 かんせいき じだい つく のこ 完成期の時代の造りをよく残している。</p>
<p>指定名称</p> <p>旧守徳堂村田薬局 店蔵、 主屋、座敷蔵 及び 味噌蔵</p> <p>きゅうしゆとくどうむらたやつきよく みせぐら、おもや、ざしきぐらおよび みそぐら</p> <p>時代</p> <p>明治-大正 員数 4棟</p> <p>大きさ</p> <p>店蔵 桁行4間・梁間3間半</p> <p>指定年月</p> <p>平成29年4月24日</p> <p>管理者</p> <p>個人</p> <p>所在地</p> <p>増田町増田字七日町</p>		<p>とお めん どぞうづく かいだ きりつまづく ひらい 通りに面して土蔵造り2階建て切妻造り平入り みせぐら た はいご おもや ざしきぐら みそぐら の店蔵が建ち、その背後に主屋、座敷蔵、味噌蔵 つづ みせぐら めいじこうき たいしょう けんちく が続く。店蔵は、明治後期から大正にかけて建築 ちやうざいしつ ゆかした ち かれいあんこ かい され、調剤室の床下には地下冷暗庫がある。2階 やくひんとう ほかん ぼしよ つか ふなそこ は薬品等の保管場所として使われていたが船底 てんじよう きこう こ おもや 天井にするなど技巧を凝らしている。主屋は たいしょうき たてもの みなみがわ とお どま そ きよしつ 大正期の建物で、南側の通り土間に沿って居室 なら ざしきぐら めいじぜんき ちゅうき たてもの が並ぶ。座敷蔵は、明治前期から中期の建物。</p>